

『麻酔科プラクティス 1 産科麻酔 All in One』

(第1版第1刷)

正誤表

本書におきまして、下記の通り記載内容に誤りがございました。訂正してお詫びいたします。

●p.295 表1

(誤) 表1 TEG, ROTEMの測定パラメータ比較

TEG	ROTEM	単位	解釈
R (reaction time)	CT (clotting time)	秒/分	測定開始～初期血餅形成までの時間 (短いほどフィブリン産生が速い)
K (clot kinetics)	CFT (clot formation time)		R/CT～振幅が20mmになるまでの時間 (短いほどフィブリン産生が速い)
α	α	度	振幅の増加率 (大きいほどフィブリン産生が速い)
MA (maximum amplitude)	MCF (maximum clot firmness)	mm	最大振幅。血塊が強固さを示す (大きいほどフィブリン産生が速い)
	A5/A10		CTから5/10分後の振幅 (大きいほどフィブリン産生が速い)

CT: 凝固時間, MCF: 最大血餅硬度

(正) 表1 TEG, ROTEMの測定パラメータ比較

TEG	ROTEM	単位	解釈
R (reaction time)	CT (clotting time)	秒/分	測定開始～初期血餅形成までの時間
K (clot kinetics)	CFT (clot formation time)		R/CT～振幅が20mmになるまでの時間 (短いほどフィブリン産生が速い)
α	α	度	振幅の増加率 (大きいほどフィブリン産生が速い)
MA (maximum amplitude)	MCF (maximum clot firmness)	mm	最大振幅。血塊が強固さを示す (大きいほどフィブリン産生が速い)
	A5/A10		CTから5/10分後の振幅 (大きいほどフィブリン産生が速い)

CT: 凝固時間, MCF: 最大血餅硬度

解釈「(短いほどフィブリン産生が速い)」はKおよびCFTについてのみ当てはまります。